

パワーオプティマイザ

S1200



パワーオプティマイザ

商業施設や大規模な発電所での設置における最も費用対効果の高い最先端の パワーオプティマイザ

エネルギー変換の向上

- モジュールレベルのMPPTによる高効率化 (99.5%) によりシステムエネルギー生産と収益の最大化、また投資収益率の加速を実現
- 高出力の両面受光モジュールと発電量の増加を可能にする高いストリング電流

安全装置搭載による最大限の保護

- SafeDC™により、停電時またはパワーコンディショナの停止時に直流高電圧が安全な電圧へ自動的に引き下げられるように設計
- Sense Connect搭載により、設置上の問題やコネクタレベルでの摩耗による過熱を検知するための継続的なモニタリングが可能

BoSのコスト削減

- 柔軟なシステム設計によりスペースを最大限に活用し、ストリング長を最大で2倍延長し、ケーブル、ヒューズ、および接続箱の50%削減が可能
- 簡単なケーブル管理と短い設置時間で2つのモジュールの直列接続が可能

O&Mの簡素化

- モジュールレベルのシステムモニタリングによりピンポイントでの不具合検出やリモートによる短時間のトラブルシューティングが可能

パワーオプティマイザ

S1200

S1200		単位
入力		
定格直流入力電力 ⁽¹⁾	1200	W
最大入力電圧(最低温度でのVoc)	125	Vdc
MPPT動作範囲	12.5-105	Vdc
最大短絡電流 (Isc)	15	Adc
最大効率	99.5	%
実質効率	98.8	%
過電圧カテゴリー	II	
稼働時出力		
最大出力電流	20	Adc
最大出力電圧	80	Vdc
非稼働時出力電圧 (パワーコンディショナからパワーオプティマイザが切断されているまたはパワーコンディショナのオフ時)		
パワーオプティマイザごとの安全出力電圧	1±0.1	Vdc
適合規格		
EMC	FCC Part15、IEC 61000-6-2、およびIEC 61000-6-3 - Class B、EN 55011	
安全性	IEC62109-1 (クラスIIの安全性)	
材料	UL94 V-0、UV耐久性	
RoHS	対応	
火災安全性	VDE-AR-E 2100-712:2013-05	
設置条件		
最大許容システム電圧	1000	Vdc
寸法 (幅 x 長さ x 高さ)	129 x 155 x 59	mm
重量	1106	gr
入力コネクタ	MC4 ⁽²⁾	
入力ワイヤー長	0.1m X 2 1.6m ⁽³⁾ X 2	m
出力コネクタ	MC4	
出力ワイヤー長	(+) 5.3, (-) 0.10	m
動作温度範囲 ⁽⁴⁾	-40~+85	°C
耐環境性能	NEMA6P/IP68	
相対湿度	0 - 100	%

- (1) STCでの定格出力がパワーオプティマイザの「定格直流入力電流」を超えないこと。モジュールの最大+5%までの出力公差を許容
 (2) 他のコネクタタイプにつきましては、ソーラーエッジにお問い合わせください
 (3) 長い入力ケーブル (1.6m) を持つSシリーズモデルの場合、Sense Connect機能は出力ケーブルコネクタでのみ有効化されます。
 (4) 周囲温度が+65°Cより高い場合、出力抑制がかかります。詳細はパワーオプティマイザ 温度ディレーティングのテクニカルノートを参照してください。

ソーラーエッジ パワーコンディショナを 使用したPVシステム設計 ⁽⁵⁾⁽⁶⁾⁽⁷⁾⁽⁸⁾⁽⁹⁾	SE5500H- JPJ/AC-S	SE-17.5K-JPI	SE25K-JPI	SE33.3K-JPI4* /-JPI8/SE66.6K-JPI /SE100K-JPI	
互換性のあるパワーオプティマイザ	S1200				
最小ストリング長	パワーオプティマイザ 7	10	13	15	
	PVモジュール 13	19	25	29	
最大ストリング長	パワーオプティマイザ 25	30	30	30	
	PVモジュール 50	60	60	60	
ストリング毎の最大連続電力		9800	14200	17000	W
ストリング毎の最大許容接続電力 ⁽⁹⁾ (ストリング間の接続電流の違いがSE-17.5Kで1,000w以下、 SE25K/33Kで2,000W以下の場合にのみ許可されます*)	13750	1ストリング - 11000 2ストリングまたは以上 - 11600	1ストリング - 16450 2ストリングまたは以上 - 19200	1ストリング - 19250 2ストリングまたは以上 - 23000	W W
異なるストリング長と向きでの並列入力接続	対応				
同じパワーオプティマイザユニットに接続された最短と最長のストリン グ間で許可されたパワーオプティマイザの数における最大差異	5つのパワーオプティマイザ				

- * 同じ規則が同等の電力定格のシナジーユニットにも適用されます。
 (5) S1200は同じストリングにおいて他のパワーオプティマイザモデルと混在できません。
 (6) 各ストリングにおいて、1) すべてのパワーオプティマイザが1枚のモジュールに接続されている場合、2) 1台のオプティマイザだけが1枚のモジュールに接続されている場合、パワーオプティマイザを1枚のモジュールに接続することができます。
 (7) 三相パワーコンディショナの最小DC容量 (モジュール定格の合計) は11kWです。
 (8) ご使用条件によってはSTC出力で計算した容量以上の接続が可能になる場合もあります。デザイナーでご確認ください。
 (9) SシリーズとPシリーズのパワーオプティマイザを別々のストリングにのみ混在させることが可能です。
 (10) 産業用パワーオプティマイザは10kWac未満の単相設置ではご使用になれません。

CE RoHS